

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立みどり小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	鶴見区
学 校 名	大阪市立みどり小学校
学 校 長 名	栗田 博司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立みどり小学校では、第6学年 94名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立みどり小学校の結果概要

本年度調査のみどり小学校の結果は、「国語」が平均正答率55%(大阪市59%、全国60.9%)、「算数」が平均正答率53%(大阪市56%、全国56.4%)となっている。「国語」では、無回答率が1.4%(大阪市2.8%、全国3.4%)と低い。C読むことに関して66%(大阪市66%、全国65.9%)と平均と並んでいるが、A話すこと・聞くこと、B書くことでは、平均を下回っている。「算数」では、無回答率が1.2%(大阪市2.8%、全国3.2%)と低い。各領域で平均正答率を下回っている。それぞれの領域において基礎・基本の習得とともに活用する力の育成を図っていく必要がある。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】国語の問題では、単なる知識の確認や単純な内容の読み取りではなく、複数の情報を読み取り、根拠を基に考え、自分の言葉で表現する力を重視する傾向が見られる。これからの指導要領でも、根拠を明確にして考えを表現する力の育成を図ることを求められると考える。児童の多くが、自分の考えをもつことはできても、「なぜそう考えたのか」「文章のどこを根拠にしたのか」「資料のどの情報を使ったのか」を明確にして説明することに課題が残っている状況である。また、必要な情報を選択・整理する力の育成を図ることも必要である。文章や資料から情報を見つけることはできても、目的に応じて、「どの情報が必要か」「どの情報を使うべきか」を判断する力が十分に身につけていない現状も明らかとなった。これら2点に焦点を当てた取り組みを共有・実行していく必要があると考える。

【算数】算数の問題では、計算や公式を覚えているだけでなく、数学的な見方・考え方を働かせ、数量や図形、データを基に考察し、判断する力を重視するという問題傾向となっている。図形の構成要素に着目して考える立方体・直方体などについて、単に公式を使うだけでなく、「辺や面などの構成要素に着目する」「図形の性質を基に考える」「既習事項と関連付けて考察する」という力が問われている。「公式を知っているからできる」ではなく、「なぜその考え方が使えるのか」という視点で考えるという力に課題がみられる状況である。また、二つの数量の関係を捉える数量同士の関係についても、「どちらがどのように変化しているか」「二つの数量を比較する」「数量の関係から判断する」といった、単に答えを求めるだけでなく、表やグラフから変化する数量の関係を読み取ったり活用したりする力に課題がみられる状況である。これらの課題点に着目し各学年の発達段階に応じた基礎・基本の習得と活用する力の育成を目指していく必要がある。

質問調査より

学校生活にかかわって

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」99%(大阪市95.8%、全国96.2%)

「自分にはよいところがありますか」87.4%(大阪市86%、全国75.6%)「学校に行くのは楽しいと思いますか」93.6%(大阪市84.5%、全国85.7%)「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」88.4%(大阪市83.2%、全国82.8%)「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」93.7%(大阪市89.8%、全国90.7%)

学習にかかわって

「国語の勉強は得意ですか」70.6%(大阪市61.3%)「国語の勉強は好きですか」70.5%(大阪市56.4%、全国57.4%)「国語の授業の内容はよくわかりますか」94.8%(大阪市82.7%、全国81.5%)わかる授業であることが肯定的な回答につながっている。「算数の勉強は得意ですか」54.8%(大阪市59.6%、全国60.1%)「算数の勉強は好きですか」53.7%(大阪市56.1%、全国57.6%)「算数の授業はよくわかりますか」80%(大阪市78.5%、全国77.5%)と比較的よくわかっているが、わかることが「得意であること」や「好き」にはつながっていない。「学習した内容について分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげようとしている」76.8%(大阪市78.6%、全国78.4%)「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな気づきをしたりすることができる」92.7%(大阪市84%、全国85.7%)「学びを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」84.2%(大阪市79.8%、全国80.8%)それぞれの項目で肯定的な回答が向上するように、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりの実装を進めていく。

今後の取組（アクションプラン）

児童が文章を正確に読み取り、自分の考えをもち、それを相手に分かりやすく表現する力を育成するため、読むことと書くことを関連付けた授業づくりを進める。読む場面では、文章中の重要な言葉や叙述に着目させ、「どこからそう考えたのか」と根拠を明確にする活動を取り入れる。また、段落ごとの要点を整理したり、必要な情報を取り出してまとめたりする活動を積み重ねる。

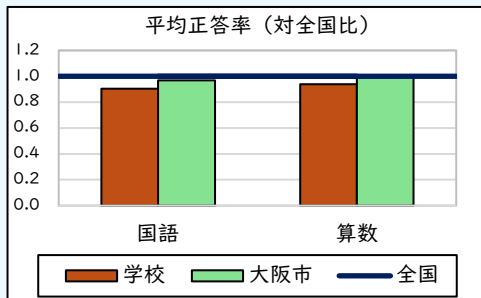
書く場面では、書く目的や相手を明確にするとともに、書く前にキーワードや構成を整理する時間を設ける。さらに、「構成を学ぶ→情報収集→構成に沿って書く→振り返る」という過程を大切に、より分かりやすく伝えるために文章を改善する力を育てる。各学年で共通して「根拠をもって読む」「考えを整理して書く」「友達と交流して文章を見直す」など活動を意識し、日常の授業の中で継続的に言語活動を充実させていく。

数量の関係を正しく捉え、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する力を育成するため、問題場面を具体的に捉える活動を大切にする。問題文から「分かっていること」「求めること」を整理するとともに、線分図や数直線、表、関係図などを活用して数量の関係を視覚的に捉えることができるように学習活動へ取り入れる。また、答えを求めることだけを目的とせず、「なぜこの式になるのか」「式の中の数は何を表しているのか」を説明したり図表を根拠に考えを結びつけたりする活動を取り入れ数学的な活動を重視していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

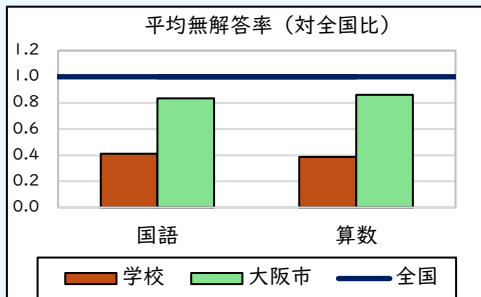
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	55	53
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



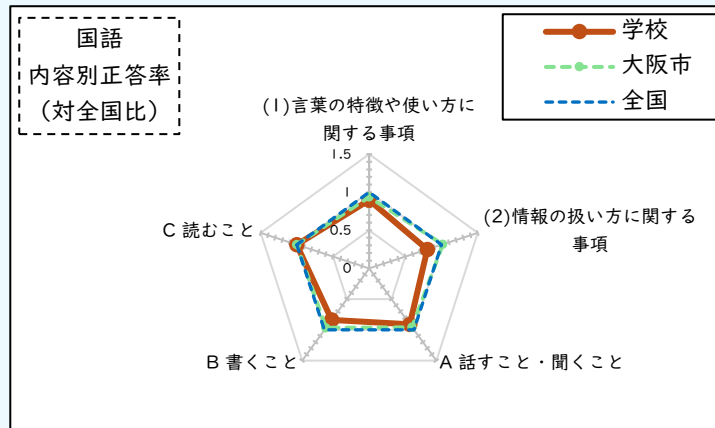
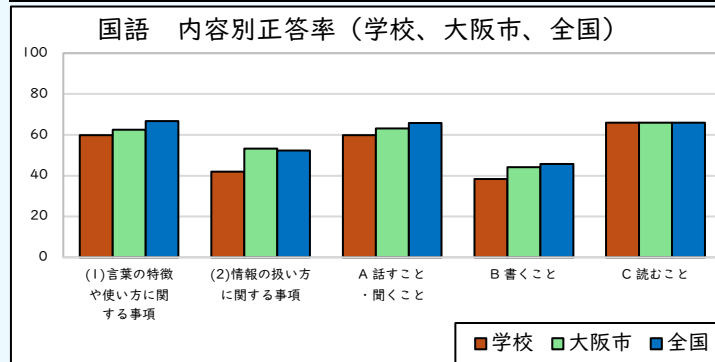
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.4	1.2
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



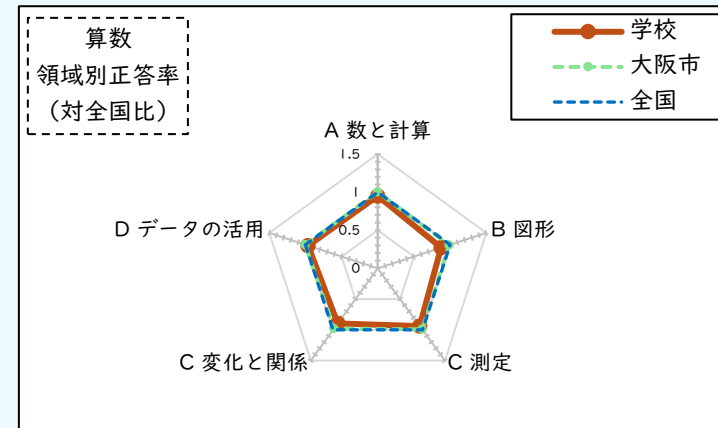
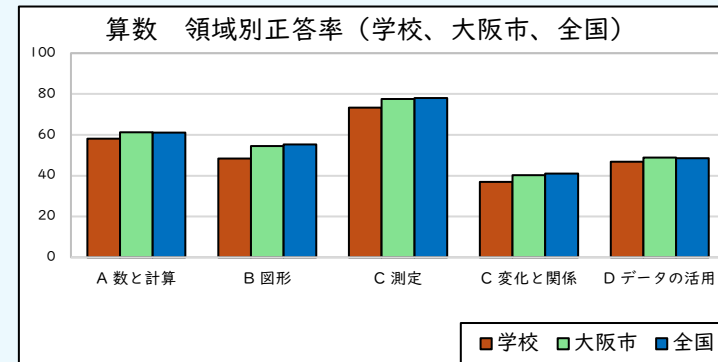
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	59.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	42.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	59.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	38.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	66.0	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	58.1	61.2	61.1
B 図形	4	48.4	54.5	55.3
C 測定	1	73.4	77.5	78.1
C 変化と関係	3	36.9	40.3	41.1
D データの活用	4	46.8	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

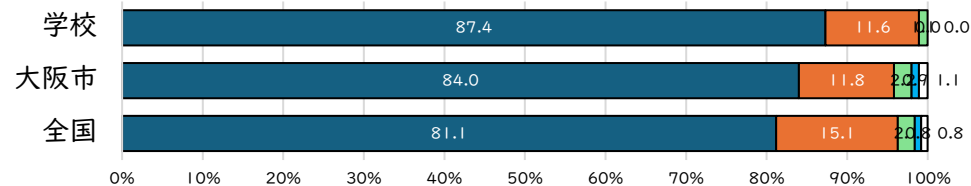
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(12)

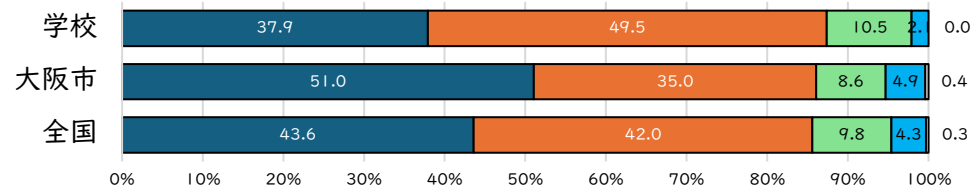
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(8)

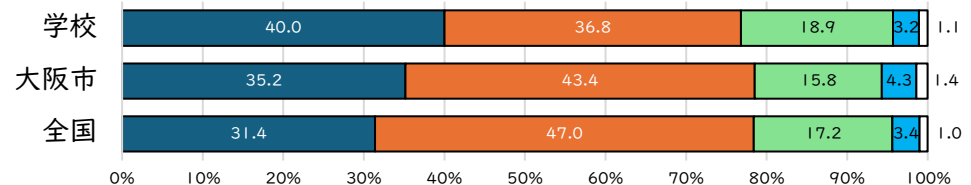
自分には、よいところがあると思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(43)

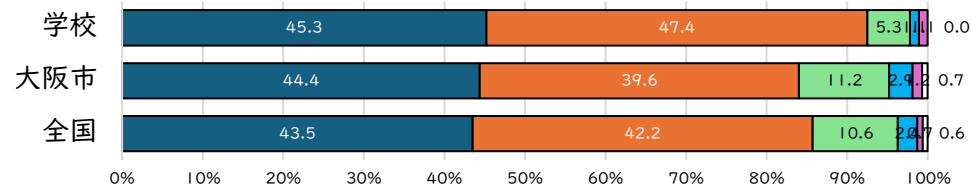
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42)

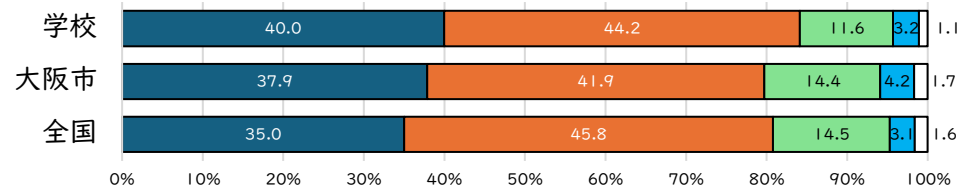
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(44)

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

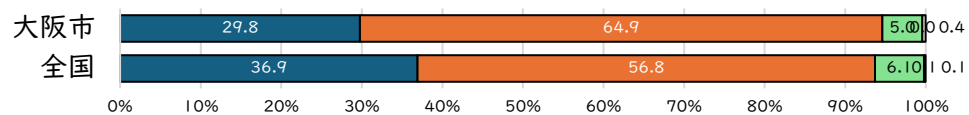
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(41)

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、している

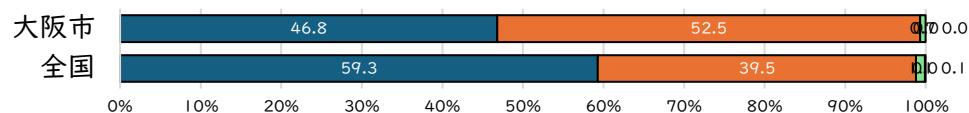


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

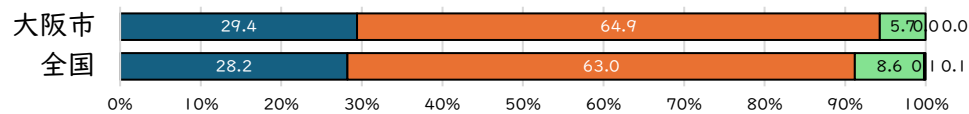


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(31)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

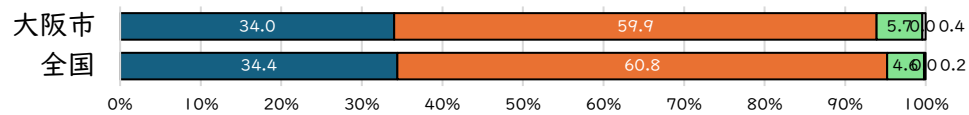


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(32)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

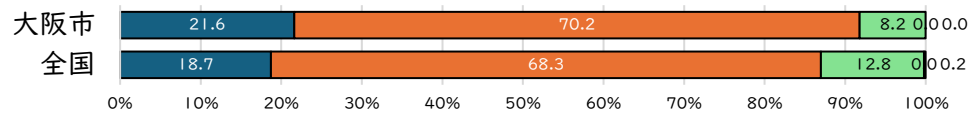


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(36)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった